



特定非営利活動法人共同子育て広場おひさま（以下「おひさま」）は、1986年以来活動をすすめてきたすぎの子共同保育所の保育実践をベースに、新しく地域の子育て支援センターとしての役割を担いたいと2005年6月24日に設立認証されたNPO法人です。

おひさま通信は、会員や地域の方々を結ぶ機関誌として、おひさまの諸行事の案内や報告、すぎの子共同保育所の子どもたちの様子などを掲載しています（季刊）。

保育行事から お正月あそび&どんどやきをしました

冷たい風が吹きあれる冬でも、子ども達は元気いっぱい外を走り回っていました。寒～い朝は、園庭のかまどに火をおこして、あめ湯や焼き芋などを楽しめます。回数を重ねてくると、4歳児も上手にマッチで火をおこせるようになりました。どんどん焚き木を拾ってきては、火傷しないように気をつけながら火の中に投げ込みます。スイッチ一つで簡単に暖が取れる現代。直接体験を通して様々な方法を知らせていきたいと思えます。

今回の通信は、寒い冬の間、部屋の中で楽しんだ伝承あそびを、どんど焼きの日にみんなに披露したことをご紹介したいと思います。



5歳児の獅子舞に頭を噛んで
もらい1年の福を願います



1歳児の太鼓「トコトン！イッサンジャー！」
4・5歳児さんの太鼓に憧れています



5歳児お手玉「もしもしかめよ～」
小さいクラスがみとれます…



2歳児手回しごま「やった～まわった～！」
逆さまにして、傘回し！



3歳児糸ひきごま
来年はいよいよ投げゴマです！



お正月飾りを燃やした火で
あぶったおもちをいただきます



しめ飾りを燃やした煙を体や頭にかぶせ
ます。1年元気にすごせますように。

ご案内

会員募集

みなさんの力でおひさまの活動を支えてください

子育てが楽しくなる、子どもの目がいきいきと輝く活動に取り組みます。行事に参加できる、できないに関わらずおひさまを応援したいという方など、入会をお待ちしております（入会金なし）。

- 【年会費】 ★正会員：5000円 ★賛助会員：一口1000円
- 【会員特典】 ☆総会決議権（正会員のみ） ☆おひさま通信配布（年3回）
- ☆イベント割引（例：園開放通常参加費大人300円⇒100円）

寄付のお願い

随時寄付をお受けしております。

【会費、寄付振込口座および振込名義】
郵便振替口座 01610-2-93045
口座名称 特定非営利活動法人共同子育て広場

2012.6.1現在：正会員74名 賛助会員8名



おまつり報告



元気いっぱい自分たちで作った
おみこしをかついて近所を練り
歩きます。中にはカッパがまっ
たあります。（5歳児）

みんなで作るおまつり

2011年11月19日（土）、共保まつりが開催されました。当日は、あいにくの雨でしたが、在園保護者をはじめ、OB保護者やたくさんの地域の方々にも足を運んでいただきました。食（たこ焼き・さつまいもスープなど）やあそび（竹のぶんぶんごま・松ぼっくりツリー）、バザー、保育展示など各コーナーを回りながら、思い思いに楽しんでいただけたのではないのでしょうか？

エンディングでは、保護者で何かできるのではないかと影絵に取り組み、近頃あまり歌い継がれなくなった『十五夜』など唄いながら動物指影絵を、もう一つは、からだやペープサートを使って『てぶくろ』のお話を演じました。

出し物は、ずっと内緒にしていたので、当日の子ども達は場面が変わるごとに歓声があがり、そのきらきらと輝く表情に親達もとても嬉しくなりました。

すぎの子共同保育所のおまつりは、在園保護者・OB保護者・職員・理事で実行委員会を作り、企画しています。初めての実行委員長は、戸惑う事もたくさんありましたが、実行委員を経験した人にたずねたり、実行委員会で話し合いを重ねたりすることで、一つ一つ解決することができました。ふりかえると、困ることや焦る事もいっぱいありましたが、その中にも、やってみて初めてわかる楽しさや達成感もありました。ぜひ、いろいろな人にこのような体験をしてほしいです。地域や保育所に関わるたくさんの人達がつながっているんだなど実感できるおまつりを、これからも続けていくことができればと思います。

2011年度共保まつり 実行委員長
OB・在園保護者：中上

ボランティア募集

もっとたくさんの人におひさまを少しでも、活動を広げていくためにボランティアを募っています。

ボランティアさんの声

- ◇保育のお手伝い（要保育士資格）
- ◇事務局のお手伝い（印刷や発送などの作業）
- ◇おひさま通信の編集
- ◇園開放事業スタッフ（受付・準備・広報等）
- ◇畑作業のお手伝い等…



子どもが保育所に入所し、保育士や保護者と話す中で、子育てについてたくさんことを学びました。まだまだおしゃべりしたいし、子育てで仲間の輪を広げたいと思い、保育所のお手伝いをさせていただいています。今年も仲間と一緒に、子育て中の方に「ホッ」とする時間を過ごしてもらおうと『おひさまカフェ』を企画しました。

みなさんも仲間になりませんか？

05・10年度卒保護者：立石

おひさまカフェ

2012年1月21日(土)

9:00 ~ 12:00



触れ合いあそび
おひさまで嬉しい!

『まっ』とできる時間を過ごしてほしくて

子育てをしている仲間とおしゃべりは、子どもの見方や接し方を互いに学んだり、子育ての大変さや楽しさを共感する場であったり、肩の荷をおろし、ほっとリラックスする時間でもあります。

そこで、すぎの子共同保育所で、一緒に過ごしたOB保護者や在園保護者有志(おひさま会員中心)が、自分たちの趣味や仕事をいかし、おひさまカフェを計画、開催しました。

参加者からは、「子どもが遊んでいる様子を見たり、マッサージを受けたりして親子でリラックスできた」「OB保護者と話ができて嬉しい交流になった」などの声をいただきました。

今回の企画は、子育て支援のために会員自ら何が出来るかを考え、それを形にできたという場でもありました。初めての取り組みでしたが、参加者に子育てを楽しむ場がここ(おひさま)にもあるということを知ってもらうことができたのではないかと思います。

各コーナー担当者から、当日の様子をご案内(紹介)します。

実行委員長:OB保護者 立石



OB同士でもおしゃべりが弾みます。
在園のお母さん達は、先輩保護者に
小学校の話や今の悩みなどをきいてもらっていました。

ふれあいあそび (9:00 ~ 10:00)



親子で触れ合う心地よさやおはなしの楽しさを知ってもらいたいと『ふれあいあそび&おはなしをたのしもう』を企画しました。ふれあいあそびでは、子どもと目をあわせながらからだに触れ合ったり、手あそびをしたりとゆったりした時間を楽しむ姿が見られました。「子どもの目を見たり、手を持ったりして普段あそんだことがないので、今回はいい機会になりました」「ぜひ家でも楽しみたいと思います」等の感想をいただいています。おはなしは『こんこんくしゃん』のペープサートにあわせて一緒に歌ったり、『大きなかぶ』の大型絵本で「うんとこしょ、どっこいしょ」とかけ声をかけたり、子どもたちはお話の世界に入っているようでした。今回のおひさまカフェでは、それぞれが、自由に好きなところを回って時間を過ごして終わってしまうのではなく、同じもの(ふれあいあそび、おはなしの時間など)を見たり、感じたり、共有できる内容や時間を入れました。そうすることで、親子、他の家庭とも共有でき、参加者同士の交流も生まれるのではないかと考えたからです。

保育所職員:元木・福生



手づくり小物販売

卒園児の売り子さん
いかがですか~

手芸が大好きな保護者同士で集まって、手づくりの洋服や生活の中にあっという間と思う小物を製作し、販売をしました。集まって作りながら子育ての話しをすることがとても楽しく、悩みを仲間に聞いてもらったり、子育てのヒントをもらったり、みんなで一緒に考えられるのが嬉しいです。

当日は、作ったものを売るだけでなく、「どちらからいらしたんですか?」など声をかけさせてもらいました。そうすると「全部手づくりでとてもかわいいですね」「どうやって作るんですか?」など尋ねてくださって、ほのぼのとした雰囲気となりました。

スタッフもおまつりや企画展などに出店することに少しずつ慣れてきて、たくさんの方と出会い、お話できるのをとても楽しみにしています。

手芸サークル(りすとボタン)所属

OB・在園保護者:盛山



出張喫茶



コーヒーを飲みながらゆっくり日常の出来

事を話してほしい。保育で子どもたちが使っているテーブルとイスを用意して、初めての人も親子一組だけで参加した人も、落ち着くことができる雰囲気を大切にしました。

今回のメニューは、甘味を抑えて、素材の味を感じられる“おやつ”を考え、開店早々多くの方に遊びに来ていただき大盛況でした。カフェコーナーのスタッフは、戸惑っている人がいないか心配することを大切にしました。参加者同士久しぶりに会う人もいて、近況を話し合う場面もありました。子どもたち同士で相談しながら好きなおやつを買いに来たり、子どもも大人もゆっくりと食事しながら話したりする姿を見ると、こちらもほっと嬉しくなりました。

★メニュー★ ●自家製天然酵母パンのサンドイッチ

- 豆腐白玉ぜんざい
- アーモンドビスケット
- バナナの Pound ケーキ
- 100%のりんごジュース
- ミル挽き豆を一杯ずつドリップした珈琲

OB・在園保護者:元木(カフェ経営)



ハンドマッサージ

子育て中のお母さんがリラックスできる時間は、わずかなものだと思います、5分でも10分でもくつろぐ時間になればと出店させていただきました。来ていただいたお母さんたちから、「至福のときやな~」「気持ちいいなあ~」と声をいただくと自然とこちらにも手が入りました。マッサージを受けている間、子どもたちはすぐ傍でスタッフと一緒に遊びながら過ごしています。子どもと一緒に自分を大切にできる時間、自分のための時間...それはお母さんにとって大切な時間。息抜きは、子どもと離れるだけでなく、一緒にいてもできることだと思います。現在私は、人材育成に関わっていますが、個性を大切に、忍耐や見守り...子育てと人を育成するということは本当に似ています。なかなかできることではありませんが、同じ子育てをするOB保護者として、日々奮闘しながら、改めて幼児期の保育の大切さを感じている毎日です。

OB保護者:河野(エステ店経営)

